

⑥大師の道 室生寺・龍穴神社 コース



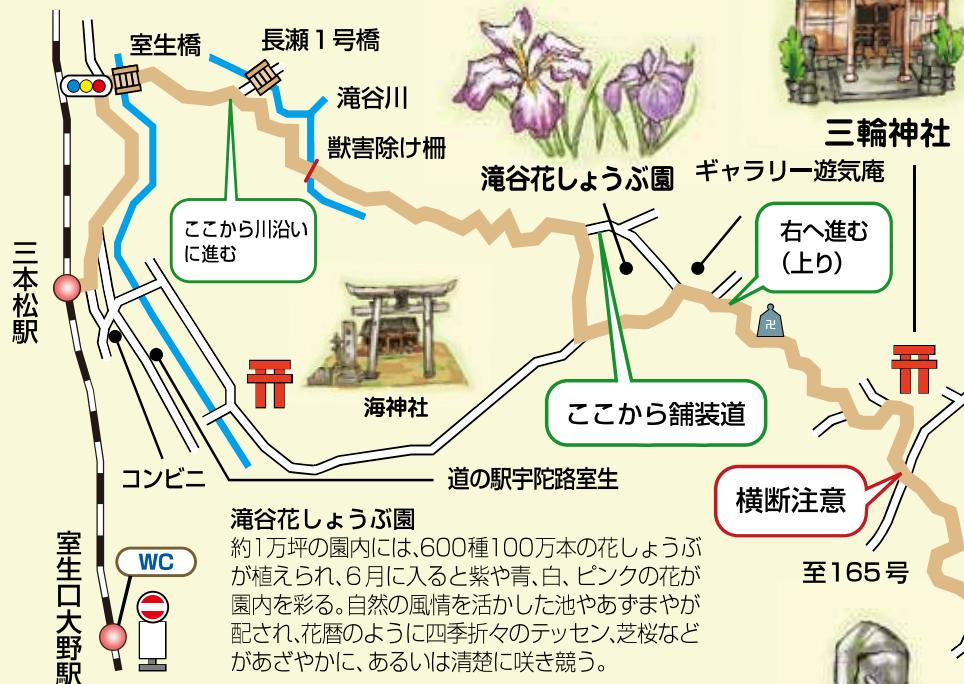
宇陀市ハイキングマップ

■ 滝谷花しょうぶ園 - 室生寺 - 龍穴神社 (約 12.1 km)

弘法大師の月命日(21日)には室生寺へ参る道として多くの人で賑わったと言われる大師の道を歩くコース。今も自然豊かな道が歴史を刻んでいる。

龍穴神社

室生川沿いにさかのぼったところにある龍穴神社は室生寺よりも古い歴史をもち、水の神「龍神」を祀る。奈良時代から平安時代にかけて朝廷からの勅使により雨乞いの神事が営まれ、室生寺は龍穴神社の神宮寺であった時代もある。上流には龍神が住むと伝わる洞穴「妙吉祥龍穴」があり、古代から神聖な「磐境」とされてきた。



全行程 約 12.1 km

三本松駅 - 2.4 - 滝谷花しょうぶ園 - 1.6 - 地点 A - 1.7 -
地点 B - 2.0 - 室生寺 - 2.2 - 吉祥龍穴 - 2.2 - 室生寺バス停

室生寺

奈良時代末、東宮(後の桓武天皇)の病気平癒を願った興福寺の名僧賢悧が創建。現在の寺觀を整えたのは賢悧の弟子修円の時代。一説には天武天皇の発願により役小角が創建し、弘法大師空海が再興したとも伝えられている。創始期の姿が見られる唯一の山地寺院として、天平の息吹を伝える堂宇が散在し、国宝の釈迦如来立像・十一面觀音像・釈迦如來坐像をはじめ、仏像や寺宝はどれも超一級の文化財である。弘法大師が一夜にして建立したと伝承される国宝五重塔は屋外のものでは国内最小。また、石楠花に代表される花の寺としても知られており、空海の開いた女人禁制の高野山に対し、女性の参詣を認めたため「女人高野」と呼ばれている。



三輪神社



龍穴神社の巨杉



吉祥龍穴

